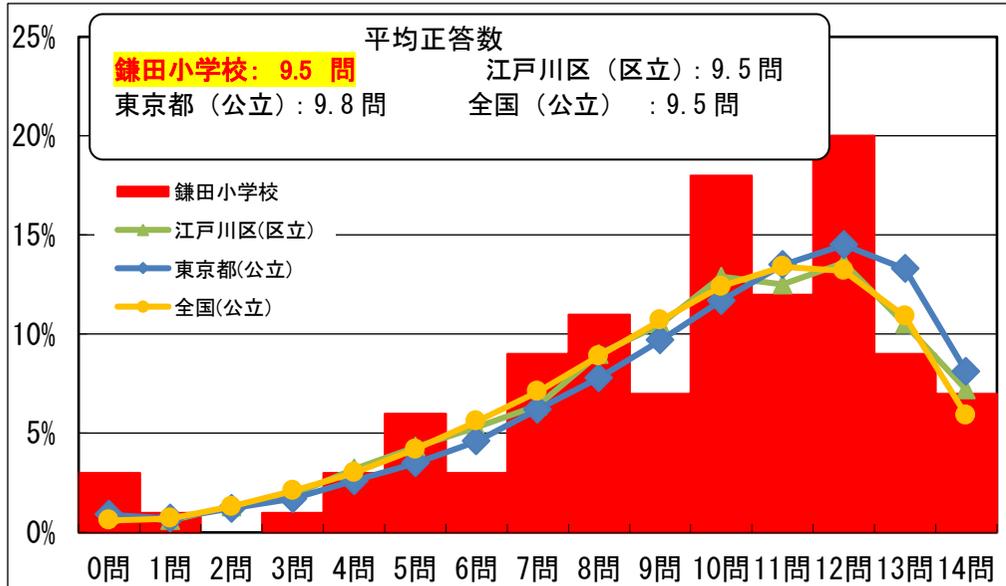


# 令和6年度 全国学力・学習状況調査結果と改善に向けて【国語】 鎌田小学校

## 正答数分布



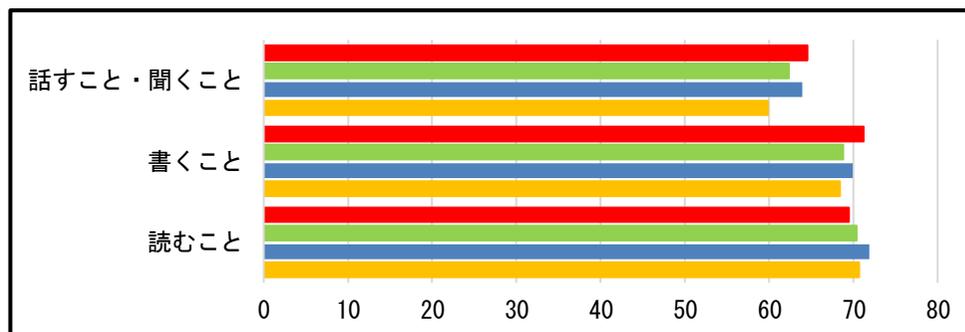
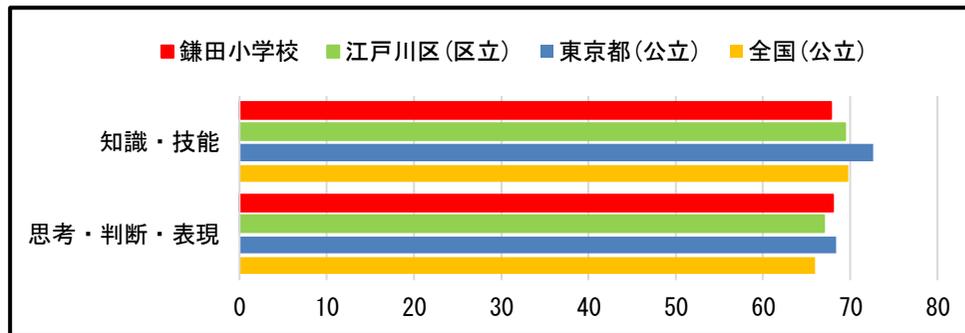
### <四分位における割合(都全体の四分位による)>

上位 ← → 下位

国語	A層 12~14 問	B層 10~11 問	C層 8~9 問	D層 0~7 問
<b>鎌田小学校</b>	<b>32.0</b>	<b>28.3</b>	<b>16.2</b>	<b>23.5</b>
江戸川区(区立)	31.3	25.4	19.5	23.8
東京都(公立)	35.9	25.2	17.5	21.4
全国(公立)	30.0	25.8	19.6	24.6

四分位とは、データを値の大きさの順に並べたとき、児童数の1/4、2/4、3/4にあたるデータが含まれているのはどの集合かを示すものである。上の表では、四分位によって児童をA、B、C、D層に分けた時のそれぞれの層の児童の割合を示している。なお、本データで示している四分位は、東京都(公立)のデータを基に定めている。

## 「領域別」の結果



### 【平均正答率の差】

<b>鎌田小学校</b>	<b>68%</b>
江戸川区(区立)	68%
東京都(公立)	70%
全国(公立)	67.7%
都との差	<b>-2ポイント</b>

%

### 【分析結果と授業改善に向けて】

平均正答率は都や区と同じ9.5問である。物語を読んで心に残ったところとその理由を60字以上 100字以内にまとめて記述する問題で26.4%、日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに役立つことに気付く問題で25.5%であった。授業改善に向けては「自分の考えを持つ」「100字程度で文章化する」という活動を日常化していく。引き続き3年生以上で取り組んでいる「よむYOMUワークシート」の有効活用に取り組んでいく。